

臨床研究に関する情報公開

当科ではサイトメガロウイルスやトキソプラズマの母子感染の診断のための新しい検査法とその意義についての開発を行っています。

研究課題：抗サイトメガロウイルス IgG 抗体アビディティー試薬の基本性能評価

研究目的：

妊娠初期のサイトメガロウイルス（CMV）の初感染は胎児に中枢神経障害など重大な影響をもたらします。このウイルスに感染しても発症することはないので、いつ感染したか判りません。そこで感染の時期を推定するために IgG 抗体のアビディティー検査を開発しています。

研究対象と材料：

研究の対象はサイトメガロウイルスの抗体が検出され、当科にコンサルトを求めてこられた妊婦様 60 名からです。これらの妊婦様の血液について当科で開発した方法によりサイトメガロウイルス IgG 抗体アビディティーを測定した残りを保存したものを個人名を消してコード化した形で、新しくデンカ生研株式会社で開発された方法で測定し、比較検討することによりその性能の評価をします。従ってこの研究を通じて個人名や個人の情報が漏出することは全くありません。

研究場所：

研究の実施場所は、帝京大学医学部附属溝口病院産婦人科研究室並びにデンカ生研株式会社新潟工場感染症試薬課です。

研究期間は平成 25 年 12 月より約 1 年間です。なお、本研究は平成 25 年 12 月 13 日帝京大学医学部倫理審査委員会の承認（帝倫 13-189 号）を得ています。

連絡先：

なお、本研究に関するお問い合わせは以下にお願いします。

帝京大学医学部附属溝口病院 産婦人科 川名 尚 土屋裕子

TEL 044-844-3333（代）